

患者アドヒアランス向上を実現するコミュニケーション

日本の高血圧患者のうち約7割は血圧値を適切にコントロールできていないとされています。適切な血圧管理を実現するには、患者の心身状況のみならず生活環境などを踏まえた適切な介入が重要です。その実現に向け診察室での指導に加え、待合室での環境整備やパラメディカルへの介入、アプリ等の新たなテクノロジーの活用などが進んでいます。そこで今回の特別企画セッションでは「患者アドヒアランスの向上」をテーマに、3名の先生方をお招きし、日々の高血圧診療において実践されている患者の主体性を上げるためのコミュニケーション術、手法などについて意見を交わしていただきます。

司会： 浅山 敬
帝京大学医学部 衛生学公衆衛生学講座

パネリスト：寺田 正樹
大久伝内科

「美・若・食・寿」を目指した血圧管理

谷田部 淳一
一般社団法人 テレメディーズ

高血圧オンライン診療の最適解は、コラボレーションである